

馬電菱の実会だより (No. 47)

4月23日(水)に

平成9年度 菱の実会総会・懇親会 を開催!

今年度の菱の実会総会および懇親会を下記のように行いますので、会員の皆様は万障お繰り合わせの上ぜひご出席願います。

なお今回は会員数も増え、いつもの懇親会会場であった睦荘では入り切らない出席者数が予想されますので、「東楊軒」で行います。その他当日のスケジュールを次のようにお知らせします。

スケジュール 14:10~14:45 馬電 工場見学(集合 ゲストホール)

14:50~15:30 総会(ゲストホール)

15:35~15:45 記念撮影(正門前 ロータリー)

16:00~18:00 懇親会(東楊軒) 会費3,000円

参加方法は (1)自家用車で直接来所の方はグラウンドへ駐車願います。

(2)公共交通機関利用の方

①東武木崎駅……13:25および13:40の2回(乗用車で出迎え)

②JR熊谷駅……13:10までに南口へ(マイクロバスで出迎え)

なお懇親会終了後も木崎駅、熊谷駅へお送りします。

当日は平成9年度菱の実会会費2,000円も徴収いたします。

その他詳細は同封の別紙案内をご覧の上、出欠可否の返信用はがきを3月31日必着で投函願います。

◆ おしらせ ◆

(1)3月のグラウンドゴルフ月例会

●日 時 3月24日(月) 午前9時から ●会 場 利根グラウンドゴルフ場

●その他 参加希望者は直接会場へお越し下さい(小雨決行、雨天中止)

(2)4月のカラオケ月例会

●日 時 4月7日(月) 午後5時から ●会 場 睦荘 Y.O.U遊ホール

●申 込 愛好会役員(小塚: 0276-31-7894)まで

(3)2月24日開催の第6回(冬季)グラウンドゴルフ大会の結果は(残念ながらスペースがなく)次号にてお知らせします。

第8回 楽しく充実した人生を過ごすために！

——会員同志で教え合える人材バンクを——

会員の中にはいろいろな特技や趣味を持ち、人生を楽しく有意義に過ごしている人が大勢います。そこで自分自身のこれから的人生をより充実させるためのひとつの手段としても、会の仲間として気楽に教えたり、教えられたりして、その輪を広げることができたら…。そんなことを思いながら始めた本欄です。（なお会員の近況報告も兼ねて掲載しています）

氏名	項目	本人の一言
平松 靖司 (伊勢崎市) 0270-32-9105	悠々自適	昨年2月の「菱の実会だより」(No.34)の会員投稿欄に、“この頃の日々”と題し掲載していただいたような生活を、その後も元気に続けています。
祖父江常雄 (新田町) 0276-56-0495	日々是好日	“ボケ防止”古文書解読、俳句、囲碁、歴史勉強。“老化防止”ハイキング、体操、グランドゴルフ。“生きがい作り”太平記の里ボランティアガイド。
斎藤 康蔵 (尾島町) 0276-52-1846	社会福祉	地域社会に少しでもお役に立てばと、町社会福祉の依頼を受けて、一人暮らし老人に、毎週火曜日にヤクルト、金曜日に昼食弁当配りを行っている。
権田 英夫 (太田市) 0276-32-0220	菊作り	定年後近所の先輩から菊作りの手ほどきを受けて4年目。年間気の抜けない作業が続くが、良い結果が出た時の喜びは大きい。皆さんもぜひ挑戦を。
宍倉 周作 (伊勢崎市) 0270-26-1264	仕事と 趣味と	県嘱託として館林へ勤務。昨年から町役員を仰せつかり結構多忙。心身の健康のため水墨画、卓球、英会話を続け、最近はインターネット、電子メールに夢中です
青木 慎治 (尾島町) 0276-52-2639	リハビリ	7年8月に膝下の血管を使って心筋梗塞の手術をした。心臓はよくなつたものの、足が血行不足のためしびれ、いまはリハビリと家の周りの散歩です。
町原義太郎 (太田市) 0276-25-3845	テニスと 鎌倉彫り	テニスを生涯の友として続けています（健康のためにいいですよ、一緒にやりませんか）。2年前に始めた鎌倉彫りに熱中しています。

会員投稿

花とひと(2)

熊谷市 鈴木 英雄

当時、私も友人も植物に関する知識はほとんどなく、目の当たりに見る一面の美しい花がシャクナゲの花であることが、やっと判った程度であった。

ともかくこの衝撃的な経験が私をシャクナゲやその仲間のつつじ類（植物分類上はロードデンドロン属という）のとりこにした原点なのである。それからというものは私は趣味家として、文献をむさぼり読み、先達の話を聞き、原野や仲間の庭で実際にこれらの植物を観察し、知識を深めていった。

赤城の山で遭遇したシャクナゲが標準和名でアズマシャクナゲと呼ばれ、関東や東北南部の山々に自生し、その学名は19世紀の後半に日本の横浜に滞在したフランス政府の役人、デグロンの名に因んでデイグローンエイナムと名付けられたことを知ったのはずっと後の話である。

このような趣味にのめり込んだ私は、原野を歩いてシャクナゲやつつじを観察したり貰い受けたりして、私の家の狭い庭はジャングルと化していった。家内からは洗濯物を干す場所もないと苦情が出始めた。それでもなおやめられず、今度は庭に鉄骨の二階建ての建物を建て、一階はミスト装置を取り付けた繁殖用の温室とし、二階には棚を作って鉢植のものを何百鉢と並べるようになった。

鉄骨の建物の二階に、私が多数の鉢を処狭しと並べたのはまだいい方で、私の東京に住むある知人などは、鉢の置き場所が自宅の庭に見つからず、瓦ぶきの屋根の上一面に棚を置き、毎日の灌水は、忍者のようにいくつかの吊りばしごを使って屋根に登っていました。熱心なアマチュアというものはいろいろ工夫するものである。

ところで私の家の植物も日増しにその数を殖やしていき、ついには面倒を見切れなくなり、枯れるものが始めた。そこで数年前にすべての植物をある植物園へ思い切って寄贈してしまった。この植物園へ行けば、私の植物がすべて見されることを考えて。そして鉄骨の二階建ての建物は、ミスト小屋とともにすべて取りこわしてしまった。

話が長くなってしまうし、本題から少々ずれてしまうけれども、この機会にこの植物園について多少のご紹介をさせていただこう。と言うのはこの植物園は群馬県にあり、それに奇しくも私と友人が神秘的なシャクナゲに遭遇した赤城山の西麓、標高700㍍のところ、37万坪の広大な自然園である。このプロジェクトが始まったのは20年近く前で、シャクナゲを中心とした10年計画のプロジェクトとして発足し、私は乞われて10年ばかり非常勤のアドバイザーをした。元々10年計画のプロジェクトであったが、原種のシャクナゲなど5年や10年ではなかなか成木として見られるものにはならないし、それに37万坪という広大な山地の開発である。すでに想像を絶する莫大な投資もされているが、現時点ではまだその一部が完成したのみで一般に公開するに到っていない。プロジェクトに参画した一人としては、いずれ遠からずその一部でも恒常に一般に公開されることを願っている。
(つづく)

新会員紹介 斎藤 正三さん (平成8年12月15日定年)
住所 境町栄 38-1 ☎ 0270-74-2586

昭和44年6月入社し、総務課教育係（現研修G）に配属後、約9ヶ月間教育全般、各工場の現場実習を経て、45年4月から技能訓練生・研修生を3年間受け持ち、48年4月付けて総務課庶務係へ異動し、予算・寮・社宅・食堂・固定資産等の管理、その他地域住民・官公庁との折衝等を経て、63年1月本社（機本）へ転任、菱電エレベーター施設へ出向、おもに建設省・通産省その他各役所への書類提出、説明、認可手続きの仕事を鍛磨し、平成3年3月馬電総務課へ復職、平成8年12月15日定年を迎えることができました。



これからは皆様をはじめ、地域社会に貢献していく過程で、あらたに楽しめることを模索してみたいと思っております。

今後ご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。

新井 忠男さん (平成9年2月20日定年)
住所 新田町木崎 464-5 ☎ 0276-56-2400

昭和41年8月サービス係に配属になり、補修部品、現品管理を一筋に微力ながら勤めさせていただきました。

在職31年の間にはいろいろなできごとがありました。なかでも42年に所内から木崎倉庫へ引っ越し、次いで56年に太田市西新町の新井商運に移り、そして平成6年に所内に入ることができました。

この間50年5月から54年3月まで吉田製作所へ出向、平成5年10月から9年2月まで菱馬テクニカに出向になりました。



退職後はハイキング程度の山歩きと写真などを撮ったり、温泉地なども旅行したいと思っております。また土地を40坪くらい借りており、家庭菜園も楽しみながら作りたいと思います。

菱の実会の皆さんには今まで以上の指導をお願いいたします。

編集後記 ●インフルエンザが流行しているようですが、皆さんいかがですか。今年の総会・懇親会は例年よりちょっと早く、4月に開催することにしました。準備の都合上から期限までにお返事をよろしくお願ひ申し上げます。（下山）

発行 発行責任者 斎藤 慶蔵 三菱電機労働組合群馬支部
1997-3-10 No.47 編集「菱の実会だより」編集委員会 電話 0276-52-3874